

新幹線地本申2号

「はやぶさ46号」走行中のドア開扉事象についての緊急申し入れ

団体交渉開催!!

12月24日、新幹線地本は新幹線統括本部と上記申し入れについて団体交渉をしてきました。以下に主な内容をお知らせします。

第1項 今回の事象についての時系列、及び原因について明らかにすること

回答 東北新幹線はやぶさ46号において、車内清掃作業者が、本来扱うことのないホームと反対側のコックを扱い、清掃終了後復位を失念した。運転士は、仙台～白石蔵王駅間走行中に、戸じめ表示灯の消灯を認め直ちに列車を停止させた。車掌は、減速中にドア開扉状態を認めドアコックを復位した。

第2項 今後、同種事象を防ぐために早急に対策を講じること

回答 作業手順の見直しに加え、車両への対策についても引き続き進めていく考えである。

- 【補足】 ◆車両側の対策
- ・運転台モニターの改修及びドアコック蓋の改造
 - ・ドアコックとドア鴨居部分への合いマークシールの貼付け（警備員確認用）
 - ・デッキへの防犯カメラ表示の追加
- ◆乗務員側の対策
- ・作業手順（運転士ブロック図等）の変更
 - ・警備員と乗務員の連絡手段としてボイスカム（アプリ）の利用
- ◆清掃会社側の対策
- ・清掃時の作業手順及び確認内容の見直し

主な議論

- ・車両側の対策の進捗状況について、モニター改修はE5系・E6系・E2系4次車・E3系2000代については2019年末に完了。その他型式については検知方式等の違いもあるため、次年度以降にハード対策を実施していく。
- ・ハード側の対策が一段落した段階で、合いマークシール確認の取り扱いについて再度検討する。
- ・命に関わる事象だという事を踏まえ、今後の教育等にどのように反映させていくかを議論しました。
- ・警備員と乗務員との連携について現状を踏まえて議論してきました。
- ・新幹線統括本部と各清掃会社とのコミュニケーションについて議論しました。
- ・事象発生（2019年8月21日）から4ヶ月経過してからの団体交渉開催となった経緯について議論しました。

（詳しい内容は交渉議事録がありますので、新幹線地本業務部までご連絡ください）

**対策がしっかり守られているか検証し、現場の声を反映させ、
より安全な労働環境を創り出していきます!!**